

「令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果の概要

令和元年12月19日  
教育庁健康教育課

1 令和元年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査について

(1) 実施期間 平成31年4月から令和元年7月末までの期間

(2) 調査対象者

○小学校、義務教育学校前期課程、特別支援学校小学部の5年生全員

○中学校、義務教育学校後期課程、特別支援学校中学部の2年生全員

※特別支援学校に在籍している児童生徒については、その障がいの状態を考慮して参加の是非を判断している。

(3) 調査事項

○児童生徒に対する調査

実技に関する調査（8種目の新体力テスト）、質問紙調査（運動習慣、生活習慣等）

○学校に対する調査

質問紙調査（子供の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る取組等）

○教育委員会に対する調査

質問紙調査（子供の体力・運動能力、運動習慣等の向上に係る取組等）

(4) 調査校数と児童生徒数（公立学校）

校種	調査学校数 本県(全国)	調査対象児童生徒数		
		男子	女子	合計
小学校5年生	426校(19,351校)	7,584人	7,247人	14,831人
中学校2年生	224校(9,668校)	7,658人	7,120人	14,778人

2 本県の結果の概要について

(1) 体力・運動能力について（別紙資料1、2、3参照）

①体力合計点平均の比較

	令和元年度全国平均	令和元年度本県平均
小5男子	53.61	53.04
小5女子	55.59	★56.19
中2男子	41.56	41.28
中2女子	50.03	★50.09

※★は、全国平均を上回った値

	25年度 本県平均	26年度 本県平均	27年度 本県平均	28年度 本県平均	29年度 本県平均	30年度 本県平均
小5男子	52.33	52.62	52.86	53.42	<u>53.98</u>	53.88
小5女子	54.36	54.85	55.23	56.22	56.39	<u>56.64</u>
中2男子	41.04	40.56	40.77	41.20	41.37	<u>41.62</u>
中2女子	47.50	47.74	47.77	48.40	49.43	49.76

※新体力テスト合計点（満点：8種目×10点＝80点）

※          下線部は、平成25年度からの7年間で最も高い値

※現行調査は平成25年度より開始

- ① 「体力合計の平均点」について全国平均点と比較すると、小学5年女子は5年連続、中学2年女子は初めて全国平均値を上回ったが、小学5年男子、中学2年男子は下回った。
- ② 県平均値を見ると、小学5年男子では昨年度よりも下がったが、現行調査開始の平成25年度と比較すると0.71点高くなった。中学2年男子では、昨年度よりも下がったが、平成25年度と比較すると0.24点高くなったほか、全国平均値との差は最も小さくなった。中学2年女子では、昨年度より0.33点高くなった。
- ③ 中学2年女子は、平成25年度以降最も高い県平均値となった。

(2) 種目別体力・運動能力の概要について【令和元年度全国平均値との比較】

<小学校5年男子>※ 下線部は、全国平均値を上回っている値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	16.37	19.80	33.24	41.74		50.32	9.42	151.47	21.60	53.61
県	<u>16.51</u>	<u>19.07</u>	<u>32.45</u>	<u>42.61</u>		<u>48.72</u>	<u>9.53</u>	<u>151.33</u>	<u>21.20</u>	<u>53.04</u>

- 上回った種目は「握力」「反復横とび」である。
- 課題となる種目は「長座体前屈」「20mシャトルラン」であり、柔軟性や動きを持続する能力を高める授業の工夫が必要である。

<小学校5年女子>※ 下線部は、全国平均値を上回っている値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	16.09	18.95	37.62	40.14		40.80	9.63	145.70	13.59	55.59
県	<u>16.36</u>	<u>18.60</u>	<u>36.58</u>	<u>41.34</u>		<u>42.26</u>	<u>9.60</u>	<u>147.75</u>	<u>14.07</u>	<u>56.19</u>

- 上回った種目は「握力」「反復横とび」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」である。「上体起こし」は、ほぼ全国平均と同等である。
- 課題となる種目は、「長座体前屈」であり、柔軟性を高める工夫が必要である。

<中学校2年男子>※ 下線部は、全国平均値を上回っている値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	28.64	26.85	43.43	51.87	400.03	83.13	8.02	195.02	20.35	41.56
県	<u>29.44</u>	<u>26.02</u>	<u>42.57</u>	<u>52.28</u>	<u>398.19</u>	<u>83.10</u>	<u>8.00</u>	<u>198.62</u>	<u>20.35</u>	<u>41.28</u>

- 上回った種目は「握力」「反復横とび」「持久走」「50m走」「立ち幅とび」である。
- 課題となる種目は「長座体前屈」であり、柔軟性を高める授業の工夫が必要である。

<中学校2年女子>※ 下線部は、全国平均値を上回っているか同等値

	握力 (kg)	上体 起こし (回)	長座 体前屈 (cm)	反復 横跳び (点)	持久走 (秒)	20mシャトルラン (回)	50m走 (秒)	立ち 幅跳び (cm)	ソフトボール 投げ (m)	体力合計 (点)
国	23.74	23.58	46.29	47.25	290.55	57.98	8.81	169.71	12.87	50.03
県	<u>24.05</u>	<u>22.88</u>	<u>45.91</u>	<u>47.58</u>	<u>287.72</u>	<u>58.66</u>	<u>8.78</u>	<u>172.06</u>	<u>12.96</u>	<u>50.09</u>

- 上回った種目は「握力」「反復横とび」「持久走」「20mシャトルラン」「50m走」「立ち幅とび」「ボール投げ」である。それ以外の種目はほぼ全国平均と同等である。
- 各項目に上昇傾向が見られるが、「上体起こし」「長座体前屈」の改善が必要である。

〔種目別体力・運動能力の全体的な傾向〕

- 昨年度同様、「握力」「反復横とび」は、全ての学年・男女で全国平均を上回った。
- 昨年度同様、「上体起こし」「長座体前屈」は、全ての学年・男女で全国平均を下回った。

(3) 運動習慣等について【令和元年度全国平均値との比較】

R1 全国体力・運動能力調査児童・生徒質問	小学校5年 (%)				中学校2年 (%)			
	男子		女子		男子		女子	
	全国平均	本県平均	全国平均	本県平均	全国平均	本県平均	全国平均	本県平均
運動やスポーツをすることは「好き」	71.2%	68.7%	55.6%	53.9%	62.5%	61.7%	46.8%	44.3%
体育・保健体育の授業は「楽しい」	73.8%	72.3%	60.2%	59.5%	52.4%	<b>56.2%</b>	40.7%	<b>42.7%</b>
1週間の総運動時間(月～日)(分)	556.8分	447.2分	348.9分	307.6分	817.5分	800.8分	596.0分	604.8分
運動部への所属	29.6%	<b>33.1%</b>	19.8%	<b>23.2%</b>	75.6%	<b>81.8%</b>	57.3%	<b>63.3%</b>
地域スポーツクラブへの所属	48.1%	45.1%	31.4%	29.2%	17.9%	17.2%	10.7%	<b>11.0%</b>
毎日朝食を食べる	82.2%	<b>83.8%</b>	82.3%	<b>83.9%</b>	81.6%	<b>83.0%</b>	78.3%	<b>81.2%</b>

※太字は全国平均を上回る数値

- 運動への意識(運動やスポーツをすることは「好き」の割合)  
昨年度同様、全ての調査学年で全国平均をやや下回った。→ 幼児期からの工夫が必要である。
- 運動への意識(体育・保健体育の授業は「楽しい」の割合)  
中学2年男女で、全国平均値を上回った。→ 小学校体育の「楽しい授業」への工夫が必要である。
- 1週間の総運動時間(月～日)※体育・保健体育の授業時間を除く  
中学2年女子以外の調査学年で全国平均を下回った。→ 特に小学校5年男児の差が大きく、肥満や運動能力に影響があると考えられる。
- 運動部への所属割合  
昨年度同様、全ての調査学年で全国平均を上回った。
- 地域のスポーツクラブへの所属  
昨年度同様の結果となった。→ 学校の部活動への加入が大きいと考えられる。
- 朝食を毎日食べる割合  
昨年度同様、全ての調査学年で全国平均値を上回った。→ 「ふくしまっ子食育指針」に沿った食育指導の取組効果が大きいと考えられる。

(4) 児童生徒の体力・運動能力向上のための取組について

今後も体育・保健体育の授業実践の中で、動きたい体・動ける体づくりを目指す「運動身体づくりプログラム」の積極的な活用や自校の実態に応じた「体力向上推進計画書」の実践を図りながら、楽しい体育・保健体育となるような授業改善を目指す。また、「ふくしまっ子児童期運動指針」をもとに児童の身体活動時間を確保したり、「自分手帳」を活用して児童生徒の体力・運動能力や健康への関心を高めたりするなど、自ら進んで運動に取り組む習慣づくりを推進する。

さらには、運動やスポーツをすることの楽しさを感じることができる場を設定して運動の実践力を養い、生涯にわたって運動やスポーツに親しむことのできる児童生徒を育成し、将来の健康長寿の基盤としていきたい。